



# ライフサイクル計画ドキュメント

## Lifecycle planning

NetApp  
December 15, 2025

# 目次

ライフサイクル計画ドキュメント	1
リリース ノート	2
ライフサイクルプランニングの新機能	2
2025年10月6日	2
2024年5月15日	2
2024年3月14日	2
2023年11月8日	3
2023年4月2日	3
始めましょう	4
ライフサイクルプランニングについて学ぶ	4
NetApp Console	4
ライフサイクル計画で何ができるのでしょうか?	4
ライフサイクルプランニングのメリット	4
料金	4
アクセス	5
ライフサイクル計画の前提条件	5
ライフサイクル計画のクイックスタート	5
ライフサイクル計画を設定する	6
NetApp Consoleでコンソールエージェントを作成する	6
NetApp Consoleでクラスタを検出する	6
アクセスライフサイクル計画	6
ライフサイクル計画に関するよくある質問	7
ライフサイクル計画へのアクセス	7
ライセンス	7
NetAppライフサイクルプランニングを使用する	8
ライフサイクル計画によって特定された容量の問題を確認し、修正する	8
ライフサイクル計画におけるキャパシティステータスの確認	8
コールドデータをクラウドストレージに階層化し、ライフサイクル計画で特定されたストレージを解放 します。	10
ライフサイクル計画で再度確認するためのリマインダーを設定する	11
知識とサポート	12
サポートに登録する	12
サポート登録の概要	12
NetAppサポートのためにNetApp Consoleに登録する	12
Cloud Volumes ONTAPサポートにNSS 認証情報を関連付ける	14
ヘルプを受ける	16
クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける	16
セルフサポートオプションを使用する	16
NetAppサポートでケースを作成する	16

サポートケースを管理する（プレビュー）	19
法律上の表示	22
著作権	22
商標	22
特許	22
プライバシー ポリシー	22
オープンソース	22

# ライフサイクル計画ドキュメント

# リリース ノート

## ライフサイクルプランニングの新機能

ライフサイクル プランニングの新機能について説明します。

**2025年10月6日**

**BlueXP economic efficiency**はライフサイクルプランニングに

BlueXP economic efficiencyはライフサイクル プランニングに名前が変更されました。

NetApp Consoleの左側のナビゲーションバーから、[ストレージ]>[ライフサイクル プランニング]を選択してアクセスできます。

**BlueXPはNetApp Console**になりました

NetApp Consoleは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetApp Data Servicesの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、より高速なワークフロー、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetApp Consoleのリリースノート](#)"。

**2024年5月15日**

無効になっている機能

BlueXP economic efficiency機能の一部は一時的に無効になっています:

- テクノロジーの刷新
- 容量を追加

**2024年3月14日**

テクノロジー更新オプション

既存の資産があり、テクノロジーを更新する必要があるかどうかを判断したい場合は、BlueXPの経済効率テクノロジー更新オプションを使用できます。現在のワークロードの簡単な評価を確認して推奨事項を入手するか、過去90日以内にAutoSupportログをNetAppに送信した場合は、サービスでワークロードシミュレーションを提供して、新しいハードウェアでのワークロードのパフォーマンスを確認できるようになりました。

ワークロードを追加し、シミュレーションから既存のワークロードを除外することもできます。

以前は、資産を評価して、テクノロジーの更新が推奨されるかどうかを特定することしかできませんでした。

この機能は、左側のナビゲーションの[Tech refresh]オプションの一部になりました。

詳細はこちら "[テクノロジーの更新を評価する](#)"。

**2023年11月8日**

テクノロジーの刷新

BlueXP economic efficiencyのこのリリースには、資産を評価し、テクノロジーの更新が推奨されるかどうかを判断する新しいオプションが含まれています。BlueXP economic efficiencyには、左側のナビゲーションの新しい技術更新オプション、現在のワークロードと資産を評価できる新しいページ、推奨事項を提供するレポートが含まれています。

**2023年4月2日**

**BlueXP economic efficiencyのご紹介**

新しいBlueXP economic efficiencyは、現在または将来的に容量不足になるストレージ資産を識別し、オンプレミスのAFFシステムのデータ階層化または追加容量に関する推奨事項を提供します。

["NetAppの経済効率について詳しく見る"](#)。

# 始めましょう

## ライフサイクルプランニングについて学ぶ

ライフサイクル プランニングでは、現在または予測される低容量のストレージ資産を評価し、ビジネス ニーズを満たすデータ階層化オプションに関する推奨事項を提供します。

### NetApp Console

ライフサイクル プランニングには、NetApp Consoleからアクセスできます。

NetApp Consoleは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとデータ サービスの集中管理を提供します。NetAppデータ サービスにアクセスして使用するには、コンソールが必要です。管理インターフェースとして、1つのインターフェースから多数のストレージ リソースを管理できます。コンソール管理者は、企業内のすべてのシステムのストレージとサービスへのアクセスを制御できます。

NetApp Consoleの使用を開始するためにライセンスやサブスクリプションは必要ありません。ストレージ システムまたはNetAppデータ サービスへの接続を確保するためにクラウドにコンソール エージェントを展開する必要がある場合にのみ料金が発生します。ただし、コンソールからアクセスできる一部のNetAppデータ サービスは、ライセンスまたはサブスクリプションベースです。

詳細はこちら ["NetApp Console"](#)。

### ライフサイクル計画で何ができるでしょうか？

ライフサイクル計画は、次の目標を達成するのに役立ちます。

#### 容量情報

- 環境内で容量が低下しているストレージ資産を特定します。
- 資産の現在の容量と予測容量を確認します。

### ライフサイクルプランニングのメリット

ライフサイクル プランニングには次のような利点があります。

- ライフサイクル イベントに近づいているシステムを特定し、テクノロジーの更新を計画するのに役立ちます
- 環境内の容量の問題に対処するための信頼できるアドバイザーの推奨事項を提供します
- 追加ストレージの計画にかかる時間を短縮

### 料金

NetApp、ライフサイクル プランニングの使用に対して料金を請求しません。

コールド データをクラウド ストレージに階層化する場合は、適用される料金についてクラウド プロバイダー

に確認する必要があります。

## アクセス

この機能には、NetApp Console(\* ストレージ \* > ライフサイクル プランニング \*) または **Active IQ Digital Advisor ( Digital Advisor**とも呼ばれます) ( ダッシュボード \* > \*計画ウィジェット \* > \*技術更新 \*) からアクセスできます。

## ライフサイクル計画の前提条件

運用環境、ログイン、ネットワーク アクセスの準備状況を確認して、ライフサイクルプランニングを開始します。ライフサイクル計画を使用するには、環境がすべての要件を満たしていることを確認する必要があります。

- ご使用の環境は、Web ブラウザからのログインやネットワーク アクセスなど、NetApp Consoleのすべての要件を満たしている必要があります。

参照 ["NetApp Consoleのクイックスタート"](#)そして ["NetApp Consoleのネットワーク情報"](#)。

- クラスターへのアクセス資格情報が必要です。
- 必須ではありませんが、NetApp Consoleエージェントが配置され、有効になっており、ONTAPシステムが検出されていると便利です。そうでない場合は、サービスがそのプロセスを案内します。
- コールド データをクラウド ストレージに階層化することを計画している場合は、クラスターがライセンスごとに適格であることを確認してください。

## ライフサイクル計画のクイックスタート

ライフサイクル計画を開始するために必要な手順の概要を次に示します。各ステップ内のリンクをクリックすると、詳細情報を提供するページに移動します。

1

前提条件を確認する

["環境がこれらの要件を満たしていることを確認してください"](#)。

2

ライフサイクル計画を設定する

["ライフサイクル計画を設定するための手順を完了します"](#)。

3

次は何?

ライフサイクル計画を設定したら、次に行うことは次のとおりです。

- ["容量ステータスを確認する"](#)。
- ["コールドデータをクラウドストレージに階層化してストレージを解放する"](#)。
- ["必要に応じて、再度確認するためのリマインダーを設定します"](#)。

# ライフサイクル計画を設定する

ライフサイクル プランニングを使用するには、いくつかの手順を実行して設定します。

- レビュー["前提条件"](#)システムの準備ができていることを確認します。
- NetApp Consoleでコンソール エージェントを作成します。
- コンソールでクラスターを検出します。

コンソール内で直接コンソール エージェントを作成し、後でBlueXP economic efficiencyでそのエージェントを使用することができます。または、容量修復プロセスの途中でコンソール エージェントを作成することもできます。

同様に、コンソールを使用して事前に、または容量修復プロセス中にクラスターを検出することもできます。

## NetApp Consoleでコンソールエージェントを作成する

NetApp Consoleエージェントには、NetApp ONTAPマシンへの資格情報が含まれています。

サービスを使用する前にコンソールでコンソールエージェントを作成するには、コンソールのドキュメントを参照してください。"[NetApp Consoleエージェントを作成する方法](#)"。

## NetApp Consoleでクラスターを検出する

セットアップの一部として、コンソール内でクラスター名、IP、ユーザー名、およびパスワードを識別することが含まれます。

ライフサイクルプランニングを使用する前の手順については、"[オンプレミスのONTAPクラスターの検出](#)"。

# アクセスライフサイクル計画

ライフサイクル プランニングにアクセスするには、NetApp Consoleを使用します。

コンソールにログインするには、NetAppサポート サイトの資格情報を使用できます。"[ログインについて詳しくはこちら](#)"。



この機能には、NetApp Console(\* ストレージ\* > ライフサイクル プランニング) またはDigital Advisor (\* ダッシュボード\* > 計画ウィジェット > 技術更新) からアクセスできます。

### 手順

1. ウェブブラウザを開いて "[NetApp Console](#)"。

コンソールのログイン ページが表示されます。

2. コンソールにログインします。
3. コンソールの左側のナビゲーションから、ストレージ > ライフサイクル プランニング を選択します。

## ライフサイクル計画に関するよくある質問

この FAQ は、ライフサイクル計画に関する質問への簡単な回答を探している場合に役立ちます。

### ライフサイクル計画へのアクセス

ライフサイクル プランニングの **URL** とは何ですか？

URL については、ブラウザで次のように入力します。 "<https://console.netapp.com/>" NetApp Consoleにアクセスします。

### ライセンス

ライフサイクル プランニングを使用するにはライセンスが必要ですか？

NetAppライセンス ファイル (NLF) は必要ありません。

# NetAppライフサイクルプランニングを使用する

## ライフサイクル計画によって特定された容量の問題を確認し、修正する

キャパシティ プランニングには、環境内の現在のキャパシティと予測されるキャパシティの低い領域を特定することが含まれます。ライフサイクル プランニングでは、AI を使用してデータの増加を予測し、計画プロセスを支援します。ライフサイクル計画では、環境内の容量の低い領域を特定します。

ライフサイクル計画を使用すると、次の目標を達成できます。

- "容量ステータスを確認する"
- "コールドデータをクラウドストレージに階層化してストレージを解放する"
- "何も選択せず、再度確認するためのリマインダーを設定します"

## ライフサイクル計画におけるキャパシティステータスの確認

環境内のストレージ資産が現在 90% の容量のしきい値を下回っているか、下回ると予測される場合、ライフサイクル プランニングではそれらを低容量リソースとして識別し、警告を発します。さらに、ライフサイクル プランニングでは、データを階層化する必要があるかどうかに関する推奨事項が提供されます。

容量の問題の解決に役立てるために、次の種類のデータを確認することができます。

- プラットフォーム
- 資産の所在国
- 月ごとの現在の容量と予測容量

手順

1. "NetApp Consoleにログインする"。
2. 左側のナビゲーションから、[容量] を選択します。

NetApp Console

Organization: Ntap IT | Project: test-api

Capacity **Beta**

Assets (11)

System	Model	OS version	Serial number	HA pair	Support Co...	EOS date	Capacity uti...
[blurred]	FAS8700	9.15.1P8	[blurred]	[blurred]	2026-12-31	2030-11-30	71.72 %
[blurred]	FAS8200	9.15.1P8	[blurred]	[blurred]	2026-12-31	2026-11-30	82.05 %
[blurred]	FAS8200	9.15.1P8	[blurred]	[blurred]	2026-12-31	2026-11-30	82.02 %
[blurred]	FAS8200	9.15.1P8	[blurred]	[blurred]	2026-12-31	2026-11-30	77.53 %
[blurred]	FAS8700	9.15.1P8	[blurred]	[blurred]	2025-12-31	2030-11-30	68.65 %
[blurred]	FAS8700	9.15.1P8	[blurred]	[blurred]	2025-12-31	2030-11-30	68.17 %
[blurred]	FAS8700	9.15.1P8	[blurred]	[blurred]	2025-12-31	2030-11-30	64.87 %
[blurred]	FAS8700	9.15.1P8	[blurred]	[blurred]	2026-12-31	2030-11-30	58.53 %
[blurred]	FAS8700	9.15.1P8	[blurred]	[blurred]	2026-12-31	2030-11-30	57.89 %

3. 「容量」 ページからシステムを選択します。

NetApp Console

Organization: Ntap IT | Project: test-api

Capacity > 9 [blurred]

Asset details **Beta**

Serial Number, HA-Pair: [blurred]

System: [blurred] [Evaluate storage options](#)

95230200011 | 952236001706

Summary

Platform type ONTAP	Model FAS8700	Company name [blurred]
Country US	Incumbent partner	System age 0 Years

4. アセットの\*ストレージ オプションの評価\*を選択します。

5. 次のいずれかのオプションを選択します。

- ベスト プラクティス: ベスト プラクティスを表示するには、リンクをクリックして続行します。
- 階層コールドデータ: 続行"コールドデータをクラウドストレージに階層化し、ストレージを解放する"。
- アクションは必要ありません: 続行するには"何も選択せず、再度確認するためのリマインダーを設定する"。

# コールドデータをクラウドストレージに階層化し、ライフサイクル計画で特定されたストレージを解放します。

ライフサイクル プランニングでは、予測されるデータの増加に基づいて推奨事項が提供されます。予測を受け入れるか、独自の予測を入力することができます。これに基づいて、ライフサイクル プランニングでは、予測される容量の増加を満たし、ストレージ資産の構成に最適な推奨事項が提示されます。推奨事項の 1 つは、容量を解放するためにコールド データをクラウド ストレージに階層化することです。この推奨事項は、別の製品であるNetApp Cloud Tieringへの接続を開始します。

そこから、データを階層化し、ライフサイクル プランニングに簡単に戻って他のシステムでアクションを実行できます。

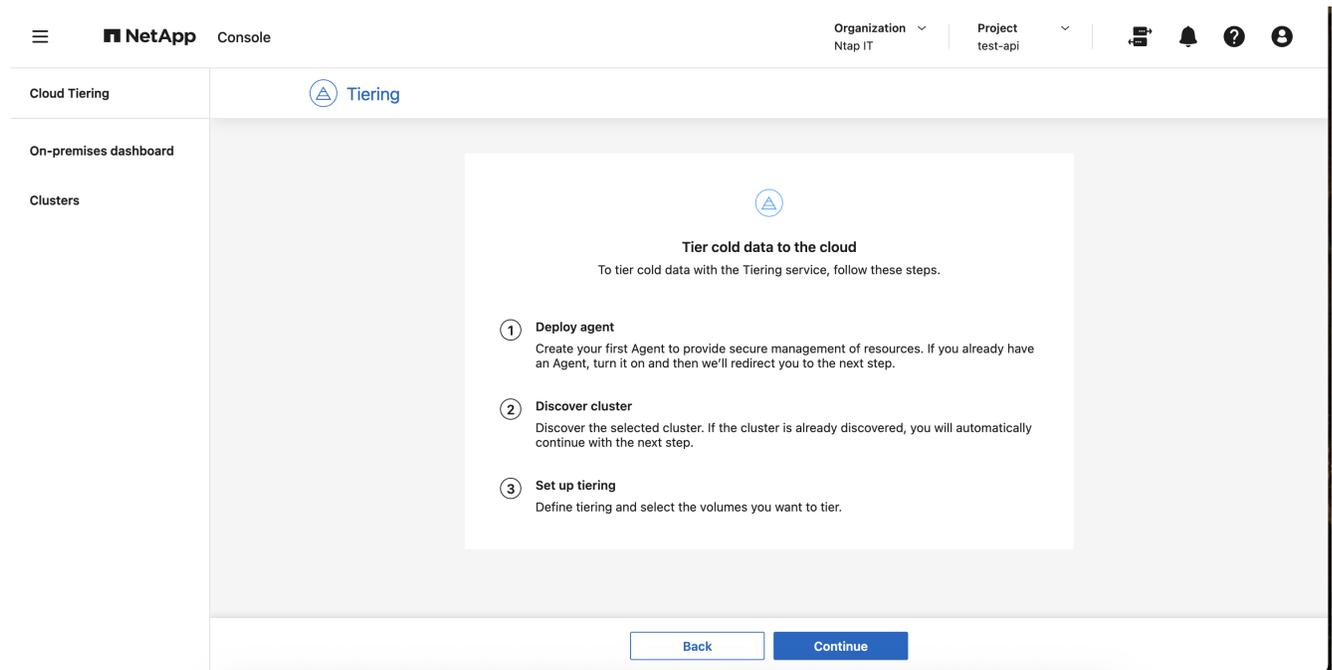
クラウド階層化プロセスには、次のプロセスが含まれます。

- コンソールエージェントを展開する
- クラスタを発見する
- クラウドへの階層化を設定する

## 手順

1. ["NetApp Consoleにログインする"](#)。
2. アセットの\*ストレージ オプションの評価\*を選択します。
3. \*Tier Cold Data\*を選択します。
4. 次の手順は、コンソール エージェントがすでに展開されていて、クラスタが検出されているかどうかによって異なります。
  - コンソールエージェントを導入する必要がある場合は、NetApp Consoleのドキュメントを参照してください。 ["コンソールエージェントの作成方法"](#)。それ以外の場合、コンソール エージェントをすでに展開している場合は、エージェントを展開するオプションは表示されません。
  - サービスがクラスタを検出する必要がある場合は、 ["オンプレミスのONTAPクラスタの検出"](#)。それ以外の場合、クラスタがすでに検出されていると、クラスタを検出するオプションは表示されません。

ライフサイクル プランニングにより、別の製品であるNetApp Cloud Tieringへの接続が開始されます。



5. \*エージェントのデプロイ\*を選択します。
6. クラウド プロバイダーを選択し、[続行] を選択します。
7. \*続行\*または\*デプロイメントにスキップ\*を選択します。

コンソール エージェントを展開すると、NetApp Cloud Tiering はクラスターを検出します (まだ検出されていない場合)。

8. クラスターが検出されたら、階層化を設定します。

階層化の詳細については、"[NetApp Cloud Tieringドキュメント](#)"。

## ライフサイクル計画で再度確認するためのリマインダーを設定する

容量や階層のコールド データを追加するのではなく、ライフサイクル プランニングで「現時点ではアクションは不要」を選択し、30 日、60 日、または 90 日後に再度確認するためのリマインダーを設定できます。

### 手順

1. "[NetApp Consoleにログインする](#)"。
2. アセットの\*ストレージ オプションの評価\*を選択します。
3. \*アクションは必要ありません\*を選択します。
4. 容量不足の問題について再度通知を受ける間隔を 30 日、60 日、または 90 日の中から選択します。
5. \*保存\*を選択します。

### 結果

その時間が経過すると、リスクはリスクのリストに再び表示されます。

# 知識とサポート

## サポートに登録する

NetApp Consoleとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウド プロバイダー ファイル サービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

## サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の 2 つの登録形式があります。

- NetApp Consoleアカウントのシリアル番号 (コンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxxx シリアル番号) を登録します。

これは、コンソール内のすべてのサービスに対する単一のサポート サブスクリプション ID として機能します。各コンソール アカウントを登録する必要があります。

- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられたCloud Volumes ONTAPシリアル番号を登録します (これらは 20 桁の 909201xxxxxxxx シリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般に *PAYGO* シリアル番号 と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAP の導入時にNetApp Consoleによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポート チケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従ってNetAppサポート サイト (NSS) アカウントをコンソールに追加することで完了します。

## NetAppサポートのためにNetApp Consoleに登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、NetApp Consoleアカウントの 1 人のユーザーがNetAppサポート サイト アカウントをコンソール ログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

### NSSアカウントをお持ちの既存顧客

NSS アカウントをお持ちのNetApp のお客様の場合は、コンソールからサポートに登録するだけです。

手順

1. 管理 > \*資格情報\*を選択します。
2. \*ユーザー資格情報\*を選択します。
3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetAppサポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、コンソール アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。

他のコンソール ユーザーは、ログインにNetAppサポート サイト アカウントを関連づけていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはあなたのアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

### 既存の顧客だが**NSS**アカウントがない

既存のNetApp顧客であり、既存のライセンスとシリアル番号を持っているものの、NSS アカウントを持っていない場合は、NSS アカウントを作成し、それをコンソール ログインに関連付ける必要があります。

#### 手順

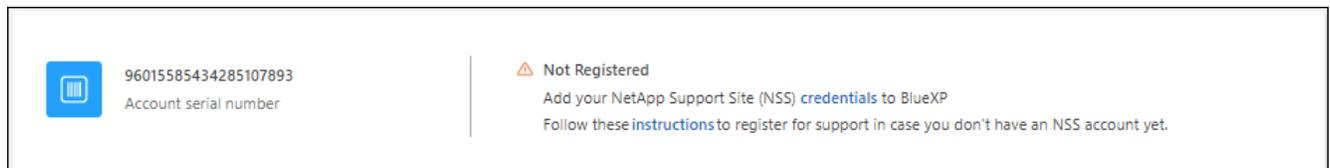
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
  - a. 適切なユーザー レベル (通常は \* NetApp顧客/エンド ユーザー\*) を選択してください。
  - b. 上記で使用したコンソール アカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをコンソールログインに関連付けます。 [NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

### NetAppの新着情報

NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

#### 手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。
2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みの**NetApp**顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド (赤いアスタリスクが付いているフィールド) に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証

メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
- 適切なユーザー レベル (通常は \* NetApp顧客/エンド ユーザー\*) を選択してください。
  - 上記で使用したアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

#### 終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずですが、これは、新規ユーザー向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

## Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をコンソール アカウントに関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL (個人ライセンス使用) 時にCloud Volumes ONTAP を導入する

コンソールがライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

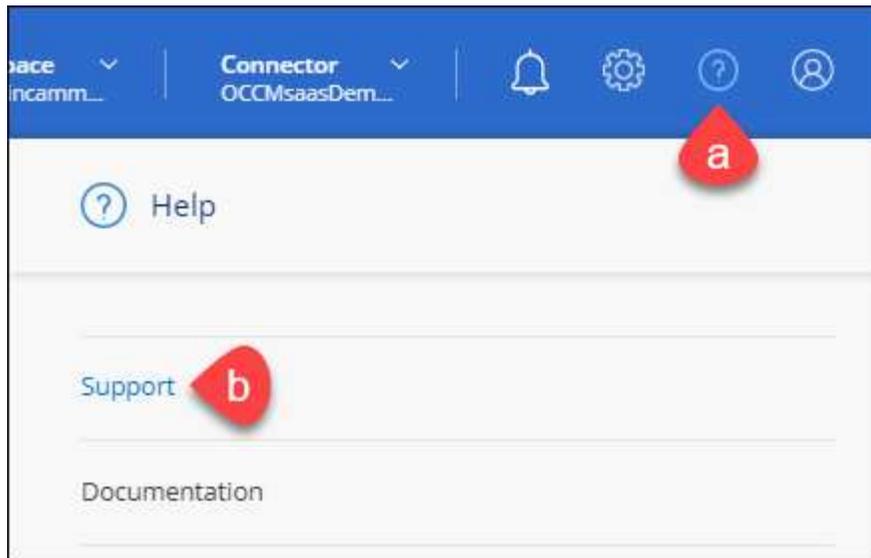
NSS 資格情報をNetApp Consoleアカウントに関連付けることは、コンソール ユーザー ログインに関連付けられているNSS アカウントとは異なります。

これらのNSS 資格情報は、特定のコンソール アカウント IDに関連付けられています。コンソール組織に属するユーザーは、サポート > **NSS** 管理 からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1つ以上のNSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1つ以上のNSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

#### 手順

- コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. \*NSS管理 > NSSアカウントの追加\*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、コンソールはライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときに、パートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp はNSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。\*NSS管理\*ページでは、... メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、... メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

## ヘルプを受ける

NetAppは、BlueXPとそのクラウドサービスに対して、様々なサポートを提供しています。ナレッジベース（KB）記事やコミュニティフォーラムなど、充実した無料のセルフサポートオプションを24時間365日ご利用いただけます。サポート登録には、Webチケットによるリモートテクニカルサポートも含まれます。

### クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける

クラウドプロバイダーのファイルサービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカルサポートについては、その製品のBlueXPドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

BlueXPとそのストレージソリューションおよびサービスに固有のテクニカルサポートを受けるには、以下に説明するサポートオプションを使用してください。

### セルフサポートオプションを使用する

以下のオプションは、24時間365日無料でご利用いただけます。

- [ドキュメント](#)

現在表示しているBlueXPドキュメント。

- ["ナレッジベース"](#)

BlueXPナレッジベースを検索して、問題のトラブルシューティングに役立つ記事を見つけます。

- ["コミュニティ"](#)

BlueXPコミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりしてください。

### NetAppサポートでケースを作成する

上記のセルフサポートオプションに加えて、サポートを有効にした後は、NetAppサポートスペシャリストと協力して問題を解決することもできます。

始める前に

- \*ケースの作成\*機能を使用するには、まずNetAppサポートサイトの資格情報をBlueXPログインに関連付ける必要があります。 ["BlueXPログインに関連付けられた資格情報を管理する方法を学びます"](#)。
- シリアル番号を持つONTAPシステムのケースを開く場合は、NSSアカウントがそのシステムのシリアル番号に関連付けられている必要があります。

## 手順

1. BlueXPで、\*ヘルプ > サポート\*を選択します。
2. \*リソース\*ページで、テクニカル サポートの下にある利用可能なオプションのいずれかを選択します。
  - a. 電話で誰かと話したい場合は、「電話する」を選択してください。電話をかけることができる電話番号をリストした netapp.com のページに移動します。
  - b. NetAppサポート スペシャリストとのチケットを開くには、[ケースを作成] を選択します。
    - サービス: 問題が関連付けられているサービスを選択します。たとえば、サービス内のワークフローまたは機能に関するテクニカル サポートの問題に固有の場合はBlueXP。
    - 作業環境: ストレージに該当する場合は、\* Cloud Volumes ONTAP\* または \* On-Prem\* を選択し、関連する作業環境を選択します。

作業環境のリストは、サービスのトップバナーで選択したBlueXP組織 (またはアカウント)、プロジェクト (またはワークスペース)、およびコネクタの範囲内にあります。
    - ケースの優先度: ケースの優先度 (低、中、高、重大) を選択します。

これらの優先順位の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスを置きます。
    - 問題の説明: 該当するエラー メッセージや実行したトラブルシューティング手順など、問題の詳細な説明を入力します。
    - 追加のメールアドレス: この問題を他の人に知らせたい場合は、追加のメールアドレスを入力してください。
    - 添付ファイル (オプション): 一度に1つずつ、最大5つの添付ファイルをアップロードします。

添付ファイルはファイルごとに25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

ntapitdemo

NetApp Support Site Account

---

Service

Select
▼

Working Enviroment

Select
▼

Case Priority i

Low - General guidance
▼

Issue Description

Provide detailed description of problem, applicable error messages and troubleshooting steps taken.

Additional Email Addresses (Optional) i

Type here

Attachment (Optional) i

No files selected

Upload

#### 終了後の操作

サポート ケース番号を示すポップアップが表示されます。NetAppサポート スペシャリストがお客様のケースを確認し、すぐにご連絡いたします。

サポート ケースの履歴については、設定 > タイムライン を選択し、「サポート ケースの作成」というアクションを探します。右端のボタンを使用すると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとする時、次のエラー メッセージが表示される場合があります。

「選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません」

このエラーは、NSS アカウトとそれに関連付けられているレコード会社が、BlueXPアカウントのシリアル番号のレコード会社と同じではないことを意味している可能性があります (つまり、960xxxx) または作業環境のシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用してサポートを求めることができます。

- 製品内チャットを使用する
- 非技術的なケースを提出する <https://mysupport.netapp.com/site/help>

## サポートケースを管理する（プレビュー）

アクティブおよび解決済みのサポート ケースをBlueXPから直接表示および管理できます。NSS アカウントおよび会社に関連付けられたケースを管理できます。

ケース管理はプレビューとして利用できます。今後のリリースでは、このエクスペリエンスを改良し、機能強化を追加する予定です。製品内チャットを使用してフィードバックをお送りください。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の2つのビューがあります。
  - 左側のビューには、指定したユーザー NSS アカウントによって過去3か月間に開かれたケースの合計が表示されます。
  - 右側のビューには、ユーザーの NSS アカウントに基づいて、会社レベルで過去3か月間に開かれたケースの合計が表示されます。

表の結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 関心のある列を追加または削除したり、優先度やステータスなどの列の内容をフィルタリングしたりできます。その他の列は並べ替え機能のみを提供します。

詳細については、以下の手順をご覧ください。

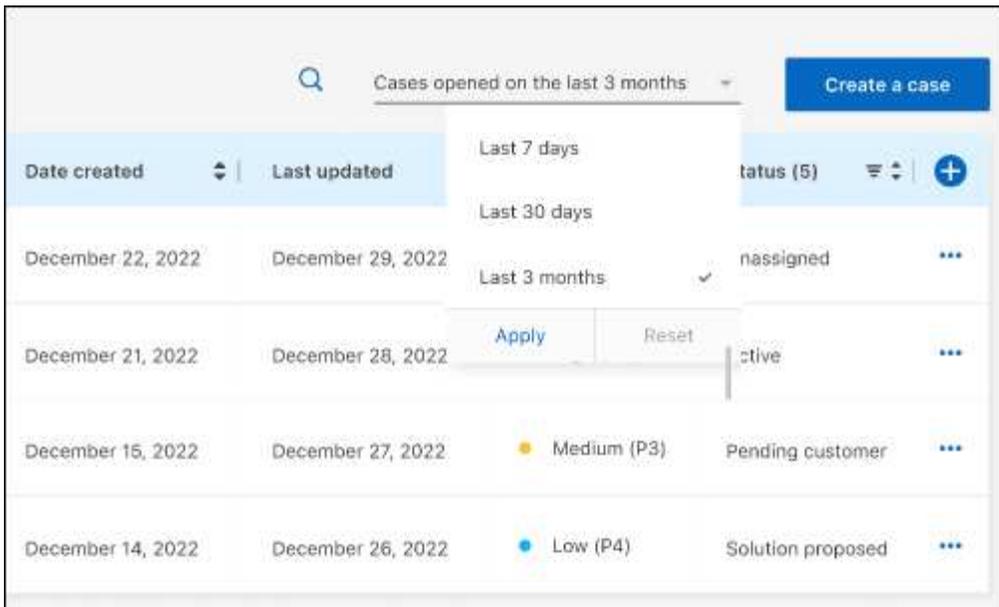
- ケースごとに、ケースメモを更新したり、まだ「クローズ」または「クローズ保留中」ステータスになっていないケースをクローズしたりする機能を提供します。

### 手順

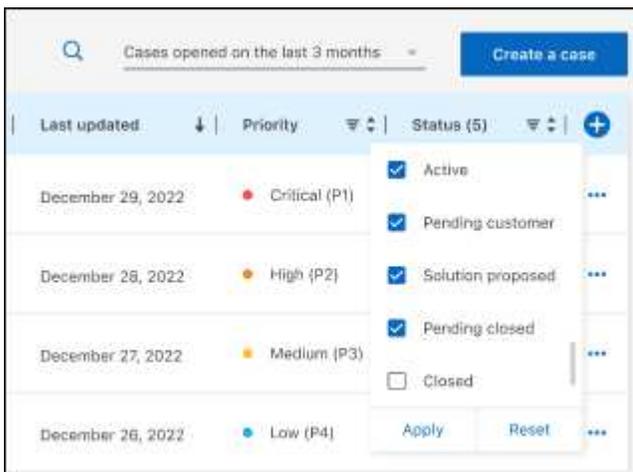
1. BlueXPで、\*ヘルプ > サポート\*を選択します。
2. \*ケース管理\*を選択し、プロンプトが表示されたら、NSS アカウントをBlueXPに追加します。

ケース管理 ページには、BlueXPユーザー アカウントに関連付けられている NSS アカウントに関連するオープン ケースが表示されます。これは、**NSS 管理** ページの上部に表示される NSS アカウントと同じです。

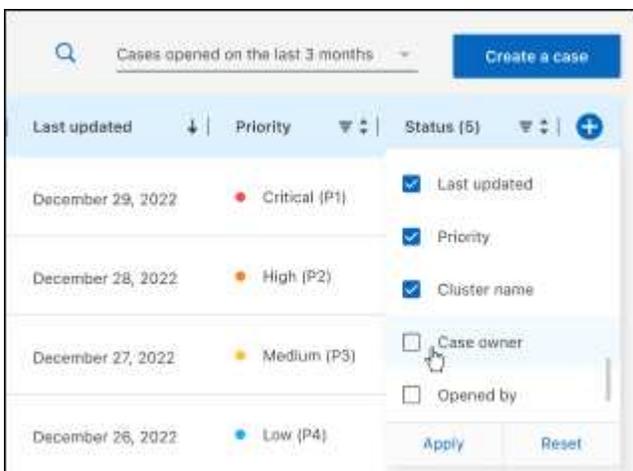
3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。
  - \*組織のケース\*の下で\*表示\*を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
  - 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して日付範囲を変更します。



- 列の内容をフィルタリングします。



- 表に表示される列を変更するには、**+**次に、表示する列を選択します。

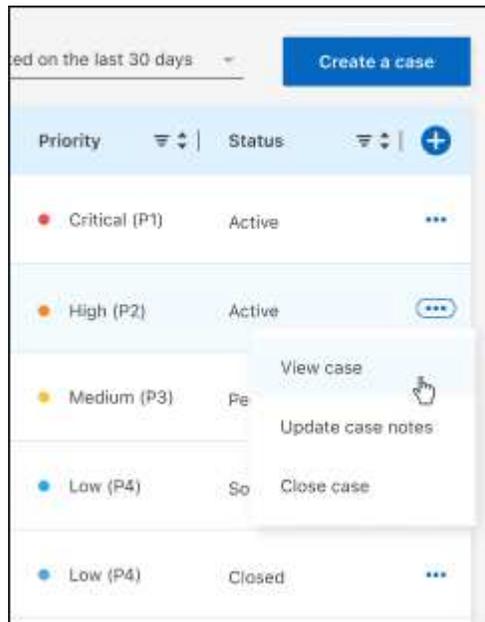


4. 既存のケースを管理するには、**...**利用可能なオプションのいずれかを選択します。

- ケースを表示: 特定のケースに関する詳細をすべて表示します。
- ケースノートを更新: 問題に関する追加の詳細を入力するか、\*ファイルのアップロード\*を選択して最大5つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

- ケースを閉じる: ケースを閉じる理由の詳細を入力し、[ケースを閉じる] を選択します。



# 法律上の表示

法的通知から、著作権情報、商標、特許などを確認できます。

## 著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

## 商標

NetApp、NetAppのロゴ、NetAppの商標一覧のページに掲載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

## 特許

現在NetAppが所有する特許の一覧は以下のページから閲覧できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

## プライバシー ポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

## オープンソース

通知ファイルには、NetAppソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が提供されます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。